

最新改訂：2011年 1月 1日

印 刷：2011年 1月 1日

1. 製品及び会社情報

製品名：スクラブ

会社名：株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ&フルイズ ジャパン

住所：大阪府吹田市江の木町30-32

担当部門：品質管理部

電話：06-6330-7118(代)

F A X：06-6330-7083

2. 危険有害性の要約

GHS分類

可燃性固体	: 区分外
急性毒性 経口	: 区分 4
経皮	: 区分外
吸入 (気体)	: 区分外
吸入 (蒸気)	: 区分外
吸入 (粉塵およびミスト)	: 分類できない
皮膚刺激性/腐食性	: 区分 3
眼損傷性/刺激性	: 区分外
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分 1
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 分類できない
授乳に関する影響	: 分類できない
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	: 区分 2 (腎臓)
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
水生環境有害性 (急性)	: 区分 2
水生環境有害性 (慢性)	: 区分 2

絵表示又はシンボル : 感嘆符、健康有害性、環境

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報

- ・ 飲み込むと有害 (経口)
- ・ 軽度の皮膚刺激
- ・ アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
- ・ 長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ (腎臓)
- ・ 水生生物に毒性あり
- ・ 長期的影響により水生生物に毒性あり

注意書き

- ・ 火気注意
- ・ 熱・火花・裸火のような着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・ 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。

- ・開封後は速やかに使用し、保管する際は密閉すること。
- ・容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・漏出物を回収すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
- ・眼に入った場合は、流水で数分間以上洗い流すこと。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- ・粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入をしないこと。
- ・吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄すること。
- ・内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : 洗浄剤

化学品名	別名	含有量(%)※	CAS No.	官報公示 整理番号	PRTR法
エトキシ化C12-C15アルコール		3	68131-39-5	—	第1種 第407号
ドデシル硫酸ナトリウム		1	151-21-3	2-1679	第1種 第275号

※法規制のあるものについて記載

4. 応急処置

吸入した場合： 通常の使用では吸入は起こらないが、発生した場合は空気の新鮮な場所に移し、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 皮膚刺激は極めて少ない。異常がある場合は医師の診断を受ける。

目に入った場合： 流水で15分間洗浄した後、速やかに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合： 通常の使用では起こらないが、発生した場合は直ちに医師の診断を受ける。飲み込むと、喉又は胃に刺激を与え、吐気、嘔吐、下痢を催す。

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末、炭酸ガス、泡、霧状の水

使ってはならない消火剤： 無し

火災時の特有の危険有害性： 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。

特定の消火方法： 適切な保護具を着用する。防護服を着用していない人を作業場から遠ざける。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

消火を行う者の保護： 耐熱性着衣などを着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 無し

環境に対する注意事項： 河川等に排出され環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材： 水と同程度の速度で自然蒸発するので、蒸発した後水拭きする。

二次災害の防止策： 無し

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策：** 火気厳禁を励行する。
高温物、スパーク、火気を避け、強酸化剤、強酸性物等との接触を避ける。
局所排気装置の設置等、通気の良い作業場所を確保する。
静電気対策の為、装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。
取扱の都度、容器を密閉する。
- 注意事項：** 目や鼻、口の周囲には使用しない。
- 保管 適切な保管条件：** 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置く。
火気厳禁を励行する。
- 安全な容器包装材料：** 現行容器のまま保管

8. 曝露防止及び保護措置

- 設備対策：** 通常換気設備は必要ないが、万が一過度な曝露がある場合は換気を行う。
- 保護具：** 通常必要無いが、蒸気が呼吸器官に刺激を与える場合はマスクを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 形状：** 液状（含有成分）
色： 不透明白色（液状成分）
- 臭い：** オレンジ臭
- pH（5%溶液あるいは水中のスラリー）：** 9.8（±0.5）
- 融点／凝固点：** N/A
- 沸点、初留点と沸騰範囲：** 100°C（液状成分）
- 引火点：** 無し（液状成分）
- 自然発火温度（発火点）：** N/A
- 燃焼又は爆発範囲の上限／下限：** 特に爆発の問題なし
- 蒸気圧（mmHg）：** N/A
- 蒸気密度（空気=1）：** >1
- 比重：** 0.986
- 溶解性：** 水溶性（液状成分）
- 分解温度：** N/A

10. 安定性及び反応性

- 安定性：** 常温・常圧、密閉保管であれば安定
- 危険有害反応可能性：** 特になし
- 避けるべき条件：** 高温、火花及び直火、混触禁止物質
- 混触禁止物質：** 強酸および強酸化剤
- 危険有害な分解生成物：** 燃焼により、一酸化炭素等、毒性のある蒸気を放出する。

11. 有害性情報

- 急性毒性 経口：** LD50 2,500mg/kg（ラット）
吸入： ミスト；LD50 1,500mg/ℓ
経皮： LD50 2,000mg/kg（ラビット）

皮膚腐食性／刺激性：

刺激性はないが、体質により刺激がある場合があるので、その際は使用を中止する。

呼吸器感作性／皮膚感作性：

知見無し

眼に対する重篤な損傷／刺激性：

刺激する。

経口毒性：

知見無し

12. 環境影響情報

急性水生毒性：区分2

慢性水生毒性：区分2

残留性／分解性：混合物としてデータなし

生体蓄積性：混合物としてデータなし

13. 廃棄上の注意

「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載事項による。

廃棄は焼却により行うが、その方法は次のいずれかによる。

- ・ 焼却炉の火室へ投げ込み焼却する。
- ・ 都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制 陸上 (RID/ADR)： 法令の基準に従い積載、運送を行う。

海上 (IMDGコード)： 法令の基準に従い積載、運送を行う。

航空 (ICAO-TI/IATA-DGR)： 法令の基準に従い積載、運送を行う。

国連分類：該当せず

国連番号：－

15. 適用法令

消防法：非危険物

P R T R法：第1種指定化学物質 第407号 エトキシ化 C12-C15 アルコール
第275号 トデシル硫酸ナトリウム

16. その他

本製品に関する有害性等の文献はありません。従って、その評価は原料メーカーからの資料を基に安全に取り扱う為の留意点としてまとめたものであり、データは充分ではありませんので、取扱には充分ご注意をお願い致します。

参考文献：法規制物質リスト（日本ケミカルデータベース）

：ケミカルデータベース（日本ケミカルデータベース）